

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名		医療連携体制推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成18年度～		担当課室	指導課 医師確保等地域医療対策室		室長 石川 直子		
会計区分		一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	平成21年3月27日医政発第0327039号「地域医療対策事業の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		主要な事業(がん対策、脳卒中对策、急性心筋梗塞対策、糖尿病対策、救急医療対策、災害医療対策、へき地医療対策、周産期医療対策、小児救急医療を含む小児医療対策など)ごとに切れ目のない医療連携提供体制を構築することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		主要な事業ごとの医療連携体制を構築するために必要な事業を行うものとする。 基準額 5,160千円 補助率 1/2							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	416	415	416	158		
			補正予算						
			繰越し等						
			計	416	415	416	158		
		執行額	116	169	158				
執行率(%)	27.9%	40.7%	38.0%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		主要な事業ごとに切れ目のない医療連携提供体制を構築する。		成果実績					
				達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		22年度は、40都道府県において事業を実施		活動実績 (当初見込み)				()	()
単位当たりコスト		-		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	医療提供体制推進事業費補助金	158	0	「医療提供体制推進事業」に統合					
	計	158	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当該事業は、主たる事業(いわゆる4疾病5事業等)における医療連携を推進するための事業であり、医療の現場でもある都道府県に対して支援していくことは、非常に有意義な手法であり、また都道府県からのニーズも高いことから、今後も継続して実施してまいりたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	<p>本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業の必要性も認められるところではあるが、更なる予算の効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>補助先である都道府県の裁量で事業の重点化を図り、予算の弾力的な執行が可能な仕組みを推進することにより、更なる予算の効率化を行う。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

厚生労働省
22年度予算158百万円

主要な事業(がん対策、脳卒中对策、急性心筋
梗塞対策、糖尿病対策、救急医療対策、災害医
療対策、へき地医療対策、周産期医療対策、小
児救急医療を含む小児医療対策など)ごとに切



※補助率 1/2
※基準額 5,160千円

【j事務委託】

A 40都道府県
158百万円
(補助額1位:東京都52百万円)



(進達業務)



【補助】

B 東京都医療機関
52百万円
(補助額1位:杏林大学医学部付)

【事業概要】

- ・急性期から回復期、在宅医療に至るまでの適切な医療サービスが切れ目なく提供するための事業
- ・地域の医療従事者などの人材養成に向けての事業

(例)

- ・脳卒中对策に係る医療連携の方法の検討、医療資源の調査、脳卒中に関する住民向けの講演会の開催
- ・周産期医療に係る医療関係者による合同症例検討会の開催 等

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

A.東京都			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	区中央部等における医療連携体制構築に向けた会議の開催等経	43			
報償費	協議会委員等謝金等	6			
需用費	消耗品購入等	2			
使用料及び貸借料	会場借料等	1			
計		52	計		0
B.杏林大学医学部付属病院			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
報償費	協議会委員等に対して謝金などに支出	5			
需用費	消耗品購入等	3			
役員費	会議資料、脳卒中急性期カレンダーの郵送等	2			
計		10	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	52		
2	岐阜県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	11		
3	静岡県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	8		
4	埼玉県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	7		
5	岩手県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	6		
6	岡山県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	6		
7	山形県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	5		
8	京都府	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	5		
9	富山県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	4		
10	青森県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	3		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	杏林大学医学部付属病院	医療連携体制推進事業	10		
2	東京都済生会中央病院	医療連携体制推進事業	4		
3	国立病院機構災害医療セン	医療連携体制推進事業	4		
4	武蔵野赤十字病院	医療連携体制推進事業	4		
5	荏原病院	医療連携体制推進事業	4		
6	西東京市医師会	医療連携体制推進事業	4		
7	東京都立広尾病院	医療連携体制推進事業	4		
8	国立国際医療センター戸	医療連携体制推進事業	4		
9	東京女子医科大学	医療連携体制推進事業	4		
10	西多摩医師会	医療連携体制推進事業	4		